

磐梯山の火山活動解説資料（平成 24 年 11 月）

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成 21 年 3 月 31 日に噴火予報（噴火警戒レベル 1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 1～2①）

剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる観測では、山体北側火口壁からの噴気の高さは 80m 以下で噴気活動は低調な状態が続いています。

・ 地震や微動の発生状況（図 2②～⑥）

火山性地震は少ない状況が続いています。

7 日 11 時 15 分に、継続時間が約 35 秒で振幅の小さな火山性微動が発生しました。火山性微動が発生した前後を含む今期間、空振計及び表面現象に変化は認められませんでした。火山性微動を観測したのは今年 6 月 25 日以来です。

・ 地殻変動の状況（図 3）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。



図 1 磐梯山 山体北側火口壁の噴気の状況（11 月 19 日 10 時 35 分頃）

- ・ 剣ヶ峰（山頂の北約 7 km）に設置してある遠望カメラによる。
- ・ 実線赤丸で囲んだのが、山体北側火口壁からの白色噴気で高さは 80m。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 24 年 12 月分）は平成 25 年 1 月 10 日に発表する予定です。

※この資料は、気象庁のデータその他、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50m メッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 23 情使、第 467 号）。

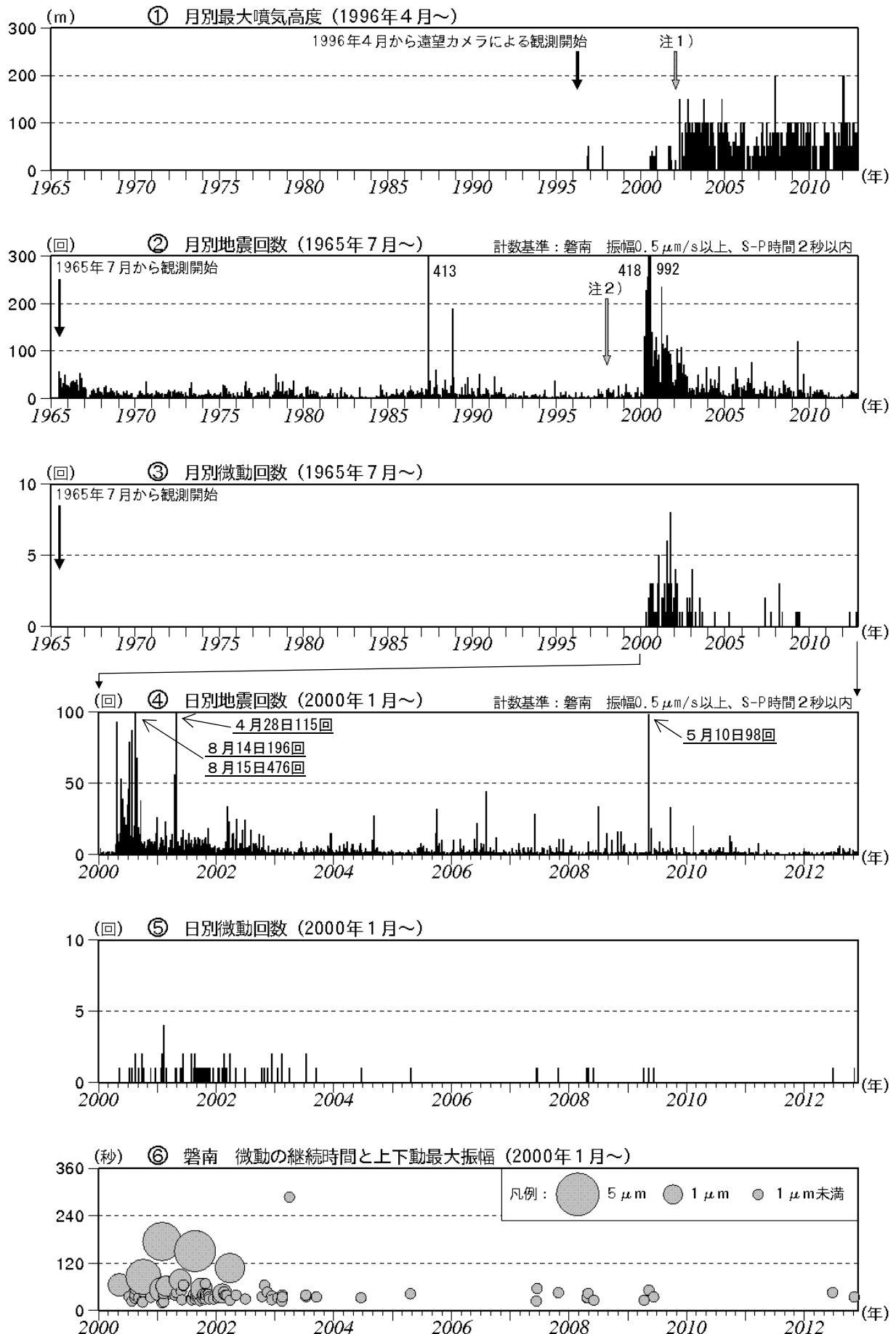


図2＊ 磐梯山 火山活動経過図 (1965年7月～2012年11月)

- ・①注1) 2002年2月以前は定時(09時、15時)及び随時観測による高さ、2002年2月以後は全ての時間で観測したデータによる高さです。
- ・②注2) 1998年より計数基準をS-P5秒以下からS-P2秒以下に変更しました。

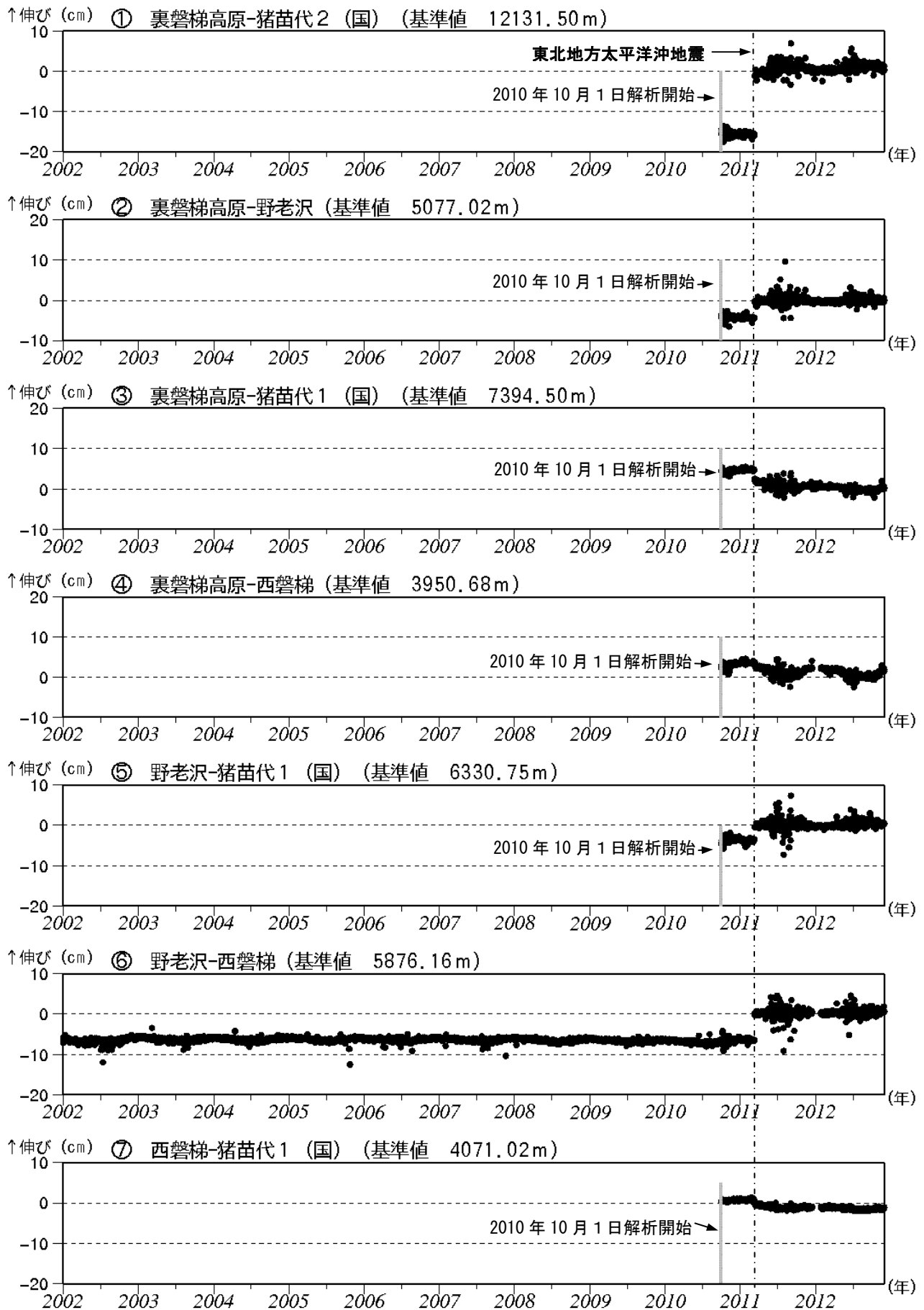


図3※ 磐梯山 GPS 基線長変化図 (2002 年 1 月～2012 年 11 月)

- ・ 2010 年 10 月以降のデータについては、電離層の影響を補正する等、解析方法を改良しています。
- ・ ①～⑦は図5の GPS 基線①～⑦に対応しています。
- ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。

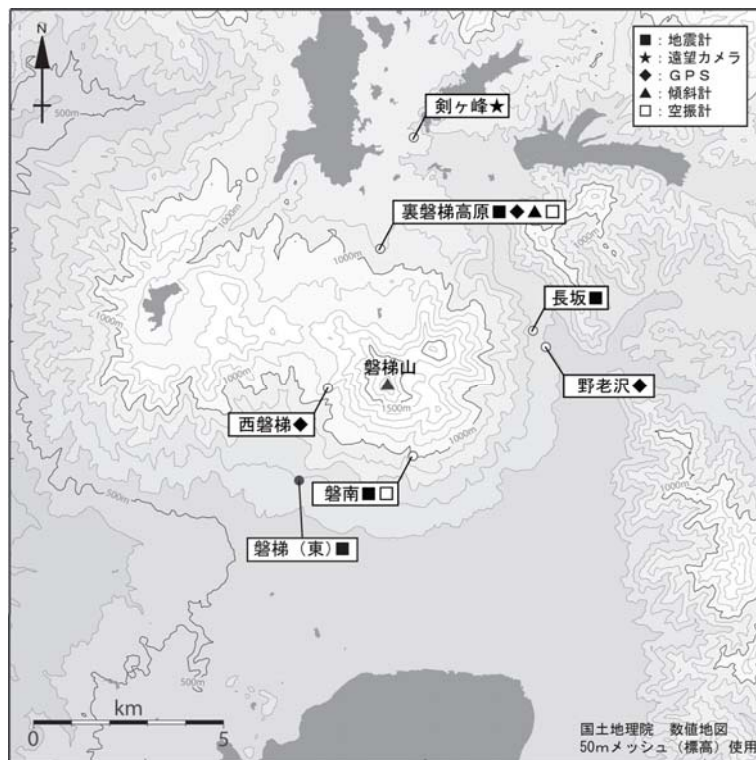


図 4 磐梯山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学

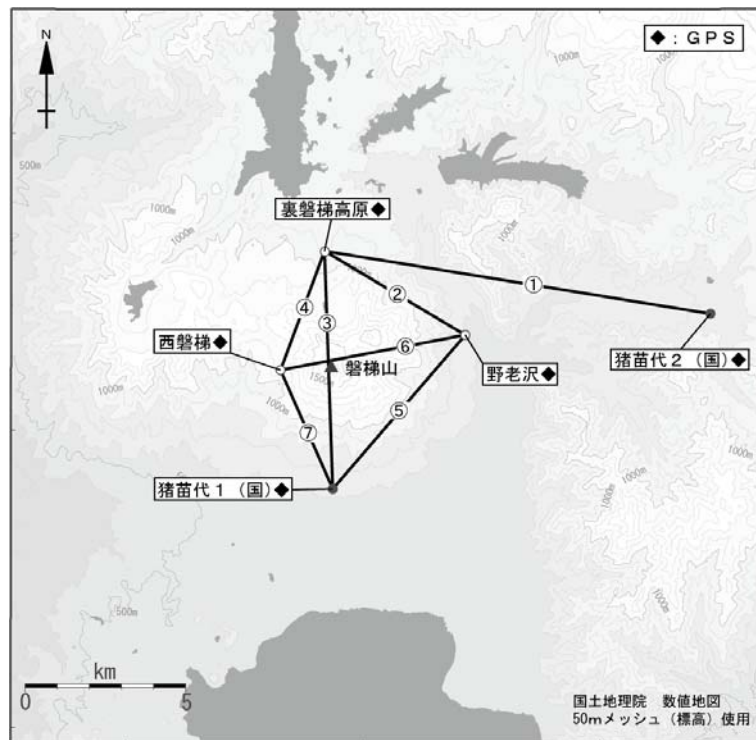


図 5 磐梯山 GPS 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院